

なにつくってるの?
東葛
工場拝見

国の伝統工芸品に選ばれた包丁

柏市
五香刃物製作所

モノづくりの「伝統技術、心」を残したい。そんな

な熱い気持ちで刃物づくりをしている柏市の五香刃物製作所。ここからは、経済産業大臣指定伝統的工芸品として認められ、次世代に受け継ぐべき鍛冶文化を継承している。もともと房総半島では、砂鉄が採れた古墳時代から製鉄と鍛冶仕事が行われて



職人による丁寧な刃物づくり

いた。江戸時代に入り、大工や農家の仕事道具・工匠具(こうしようぐ)をつくる鍛冶職人が増えたとはいわれている。しかし、現代に入り刃物類は大量生産へ移行していく。「大量生産は、ボタンひとつで誰にでも作業ができる。それに携わる人は、職人仕事ではなく職工です。私たちは、本物をつくる職人だと自負しています」と代表の八間川(やまがわ)憲彦(けんひこ)さんは言う。現在は、八間川代表の息子の義人(よしの)さんが刃物づくりを受け継いでいる。包丁の形に鋼を切る「型切り」から1000℃近い火の中に入れる「焼き入れ」「焼き戻し」。仕上げの「研ぎ」は、熟練の腕が試される。義人さんは語る。「どの工程も手を抜くことはできません。師匠から受け継いだ技術を残していく使命があると思います。時代の流れで、今は持ち手をつくる柄屋(やまがわ)さんや刻印を造る工房が無くなってきたように、この業界に危機感があります。私たち職人を陰で支えてくれている職人

にもスポットが当たればいいですね」



展示場には下総国光月作などの包丁が並び

工場の中には、多くの手づくり刃物を並べた展示場があり、見学自由だ。自社製刃物の他、全国の職人たちがつくった商品を中心に代表が厳選した刃物を展示しており、海外からもファンが訪れるという。

また、一般の人に包丁づくりに親しんでもらおうと随時ワークショップを行っている。プライダルの記念や贈り物としてつくりたい人、手づくりの包丁を使いたい人など参加者

地元のオアシス、もごとと知って

「こんぶぐる池展」開催

5月13日から16日まで、さわやかばら県民プラザで開催された「こんぶぐる池展」(主催・NPO法人こんぶぐる池自然の森)。現地で見られる動物の写真、昆虫の標本などの展示やギャラリートークが行われ、多くの市民を楽しませた。

こんぶぐる池は柏市十余二にある東京ドーム4分の広さの森と湧水からなる自然公園。水が豊かなこの自然公園には特に冷温帯植物(ツミ、ヌマガヤ、クロツバ等)が見



られるほか、タヌキや野ウサギ、様々な昆虫も生息している。かつては地元の人のみが知るスポットだったが、常磐新線(現つくばエクスプレス)の開業時、貴重種を含む多数の植物や多様な生物が確認され、公園として湧水及び周辺の生態系が保全されることになった。2010年には同NPO法人が設立され、現在は会員60人ほどで公園の管理、調査、整備活動などを行っている。展示会の企画などを手がける理事の藤原和(ふじわら)さん

「新しい切り口での展示や観察会を目指しています。アンケートを取ると「初めて来た」という方が多く、まだまだ認知度が低いと感じています。月に1回ほど動物の観察会を開催しているのでぜひ参加してください」と呼びかけている。会長の岡本昇(のり)さんは「多様な動物が生息し、オオタカなどが飛来するこの豊かな森を維持する



ホームページ

には、人の手を入れて守っていくことが大切です。まずは訪れてください。そしていろいろな発見をして、命の大切さを学んでもらえたら」と話す。

(写真・文：松原美穂) ■「草原の希少植物の開花と林内の植物観察会」 6月20日(日)9時30分〜12時。参加費無料。氏名、参加人数、電話番号、住所を明記の上、左記アドレスまでメールで申込み(申込み期間：6月3日〜15日)定員超過の場合は抽選。申込み：info@konbukuroike.com 集合場所：こんぶぐる池



こんぶぐる池で見られる昆虫の標本。現地で本物を見てみたい

自然博物館管理棟前 持ち物：服装・長靴、長袖長ズボン、手袋、帽子、飲料水、マスク 小雨決行 問合せ：04-71332-8800(同法人・土日祝のみ対応)



ホームページ

読者のお便り募集中

読者のみなさまの声を随時受け付けています。東葛地域で取り上げてほしい話題や、調べてほしいこと、紙面への感想など幅広く募集しています。

読者の
お便り



↑投稿はこちら

終わりが見えないコロナ禍。そんな中、私は他人様のお庭のお花を通りがかりに見せて頂いてホッコリしたり、身近な幸せを見つけて楽しんでます。そして、変わらずレイソルを応援し続けます。(松戸市・山岡さん・61)

身近な幸せが、良いですね!

東葛沿線さんぽが(先月)掲載されておらず残念です。東葛沿線グルメ等企画を変えて、沿線の紹介記事を読みたい。出掛ける際の良い指針になっていた。(江東区・高知尾さん・66)

先月号のさんぽはお休みでした。すみません!今月号は手賀沼です!ぜひ参考にしてくださいね!

新聞を読む若い人が減っているけれど、記事を書く人はそれはそれは大変な取材と裏取りをして書くわけで、読むだけで新しい知識や発見があるなんて、こんなにお得な事はありません。記事を書く皆さん、がんばって!(柏市・吉野さん・64)

ありがとうございます!色々な世代の方に読んで頂けるように頑張ります!(^^)

パッパラー河合さんのインタビューを読んで、散歩ルートの店はみんな知ってる!と思い、とても親しみを感じました。「超普通地区トーカツ伝説」のテキストも好きです。まだ流山電鉄を取り上げてなかったら描いてください。(柏市・チャンリオさん・54)

河合さんの立ち寄りのお店、なじみがありますよね!!トーカツ伝説も大変愛読ありがとうございます!

お買い物ついでに洗濯ができちゃうのは本当に便利です!ぜひ活用してみてください!

モラージュ柏の1Fにコインランドリーがあるのは便利です!梅雨の時期にもカラッと利用できそう!(柏市・松岡さん・53)

漢字が書けないボクを認めて

子どもの広場 ゆうび

杉山麻理江 21+280



ホームページ

小中学生の勉強について会議で話題に上がりまして、勉強はいつ始めても遅くはない、「人生を創っていくために必要な勉強はゆうびに沢山ある」というのがゆうびの信条です。ただ、保護者からは「ゲーム漬けで勉強をしない、いや自分」を認めて自分の人生を切り開いていかうか、という声も聞かれます。ゆうびでも、まずはその子がゆうびにいられて、挨拶されたらちょっと会釈くらいはして、一人でゲームやったり誰かとじゃれたり、本人の楽しみがあつて、そんな風に過ごせているならまずは十分として見守りたい。勉強は世にある様々なもののひとつとして捉えたい。そのために大人にできることは、アクセスしやすい環境を整え、一緒にたのしむこと。そして今、そのままの子どもたちを心から無条件で愛すること。それが子どもたちの自分のやりたこと、勉強を始める意欲を生み出します。子どもが苦労した話を聞いて、辛くならない親はいません。ましてや不登校生だった場合「やっぱり学ばない」といって、491(NPO)ゆうび小さな学園